

福岡中

テーマを決め活発に意見



これがイチオン

春に桜並木で集合写真

豊かな自然に囲まれた福岡中学校の周りには、おすすめスポットがたくさんあります。その中の一つが桜並木です。春になると、学校の横を流れる白石川の土手一面にきれいな桜が咲き誇ります。

満開が近づくと、花びらが地面を舞っています。また、学校のプールにも降り注ぎ、「桜のプール」が出来上がります。

始業式には、クラスごとに桜並木と集合写真を撮っています。福岡中の象徴といえる存在になっています。

学校名 白石市立福岡中学校
所在地 白石市福岡長袋山の下25
創立 1947年
電話 0224(25)3357
校長 柏 良行
生徒 87人

福岡中学校では、生徒数が少ないことを生かし、学年の枠を超えた「縦割り活動」に力を入れています。本年度は、地域安全生徒会や全校道徳に取り組みしました。家において災害に遭ったことを想定した地域安全生徒会では、同じ地区内に住む生徒で班を組み、避難所や危険な場所などを確認しました。

「よりよい学校とは何か」をテーマにした全校道徳では、班に分かれて考えました。問いを立てて話し合う「P4C（子どものための哲学）」という形式で行いました。「なぜ学校に行くのか」「もし学校に先生がいなかったら？」の問いに、「将来に生かせる経験をするため」「先生がいなくてもルールを守る」とが大切だ」との意見が出されました。みんな真剣に考え、活発な話し合いになりました。各班の代表者がまとめを発表し、全校生徒で共有しました。



「よりよい学校」をテーマに、輪になって話し合う生徒たち

編集委員 佐藤蓮、高橋来未、須藤由衣、志村亮祐、西條結叶（3年）
鈴木果歩、高野太陽（2年） 指導教員 狩野優佳

学年の枠超え取り組み

わが校わがまち スクール通信



今回は 広瀬小（仙台市）
古川黎明中（大崎市）

協力してあきらめず挑戦

鶯沢小学校の本年度の児童会のめあては「一人一人が協力し、あきらめずに挑戦しよう」です。人の話を聞いて、人とのつながりを大切にしようとの願いが込められています。

では、6年生が中心になって交流の内容を決めています。全校の人数が減って、本年度から班の数も減りましたが、みんなが楽しめる活動を工夫しています。さらに、地域の方々から伝統芸能を教わる機会もあります。栗駒文字地域の伝統舞踊「文字甚句」や、鶯沢地域の「白鷺太鼓」を学び、学芸会やまちの行事で成果を披露しています。



人とのつながりを大切に学びを深める児童

編集委員 後藤結心、鈴木れな、高橋桜冬（6年）
指導教員 上西龍

鶯沢小



これがイチオン

豊かな自然守り続ける

鶯沢小学校の校庭からは、栗原市自慢の栗駒山の雄大な姿が見られます。高さは1626mの迫力があり、四季によっていろいろな景色を見せてくれます。

また、学校近くを流れる二迫川は一級河川に登録されています。北上川の支流で、流れがとても美しいです。

栗原市では、栗駒山や二迫川などを含めた自然を「栗駒山麓ジオパーク」とし、大切にしています。私たちは、この豊かな自然を守り続け、次の世代にも受け継いでいきます。

学校名 栗原市立鶯沢小学校
所在地 栗原市鶯沢辻前10
創立 2012年
電話 0228(55)2042
校長 大塚 初美
児童 88人